



教育長だより～エール～ No.10

神奈川県秦野市教育委員会
〒257-8501 秦野市桜町1丁目3番2号
0463-84-2783 文責 佐藤直樹

旅立ちの時！～中学生1391名 小学生1320名～

卒業
おめでとう



◇小中学校の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます◇

まずは3月12日の中学校卒業式を迎える皆さん！中学校で過ごした3年間での人との出会い、様々なことへの挑戦、流した汗や涙、友達、家族、先生方、地域を始めとする多くの方からのエールが、あなたの大きな成長へとつながり、今日のよき日を迎えることができました。皆さんがこれから歩いていく社会は今、大きな変革の刻（とき）を迎えています。「夢中に勝る努力なし」という言葉もあります。義務教育9年間で培った多くの夢中を大切に、自分の可能性を信じて、一歩ずつ未来を拓いていってください。皆さんのふるさと秦野は来年、市政70周年を迎えます。ふるさと秦野はこれからも、皆さんを応援しています。

そして3月19日に小学校卒業式を迎える皆さん！仲間とともに学び、ともに遊び、多くの方々に温かく見守られ過ごした6年間で、数々の思い出とともに、心も体も健やかに成長し、今日のよき日を迎えることができました。「日本一おいしい水」、「魅力ある秦野のまち」これは、本年一月に開催した「はだのっ子アワード」表彰式で、受賞者代表の二人が寄せてくれた「ふるさと秦野」への想いがあふれるメッセージからのキーワードです。支えてくださった方々への感謝を忘れず、自分と仲間を大切にしてください。

保護者の皆様からの温かい御支援、そして校長先生をはじめ先生方の熱心な御指導に改めて深く感謝申し上げます。

★はだのっ子アワードが目指すもの★

はだのっ子アワードとは、本市の恵まれた地域資源を生かし、学習や体験活動などを通じて「ふるさと秦野を愛する子ども」を育むことを目的に実施しており、「体験活動部門」、自然や風土、産業、文化等についてのご当地検定試験の「ふるさと秦野検定部門」の他、読書活動を熱心に取り組んだ団体の3部門で表彰するものです。



上の写真は市長も参加して行われた表彰式、左の写真は秦野産木材で作成された表彰盾です。今年の「ふるさと秦野検定部門」は、ついに参加者が1000人を越えました！

はだのっ子読書検定チャレンジ中

現在教育委員会では、新聞社主催の読書検定に参加中です。読書検定とは気になる一文を選ぶ取組！詳しくはネット検索もしくは二次元コードを読み込んで、解説をご覧ください。現在、秦野市代表の子どもたち7名がエントリーしています。

読書検定が簡単に分かる動画は以下 URL または右の QR コードから
<https://youtu.be/0yDkto9h1Pw>



読書検定が簡単に分かる資料はこちら
※そのまま下にスクロール



【フセンテンスの見つけ方】

①本棚を眺めてみましょう



②本棚から一冊選びましょう



③本を読んで、気になるフセンテンスにアンダーラインをひいたり、ポストイットを貼ってみましょう。



④数箇所あるポストイットの中から、一箇所を選び、そのフセンテンスを読書検定に入力しましょう。



※読書検定を初めて利用する方は、読書検定ルールをご確認ください。

読書検定 | 読書検定ルール | dokusyo-kentei.com



参加校

本町小
大根小
広畑小
末広小
東中
北中

ホームページURL

<https://dokusyo-kentei.com>

～世界自閉症啓発デー2024～ ポスターはこちら

本市では昨年8月フルインクルーシブ教育の実現を提唱する東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター・センター長 小国 喜弘（こくに よしひろ）教授をお招きし、すべての子どもがすべての時間に共に学び合う教育の重要性について学ぶ機会を設けました。また、平成19年12月には、国連総会において毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」に定める決議が採択され、自閉症について、家庭や社会全体の理解が進むように意識啓発の取組を行うこと等が求められ、4月2日の「世界自閉症啓発デー」及び4月2日から8日までの「発達障害啓発週間」を社会全体で自閉症をはじめとする発達障害の啓発に取り組む機会としています。

これを機会に、右の二次元コードから少し学んでみませんか？



世界自閉症啓発デー
公式サイト

